

申し込み方法

こちらのQRコードまたは以下のリンクよりお申し込みください。

<https://forms.gle/FaDN2PYnmza2pYv87>



【午前の部】のみオンライン（Zoom）での参加が可能です。

【午前の部】のみ【午後の部】のみの参加も可能です。

（60拠点になり次第締め切ります）

【公開講座全体に関するお問合せ】

いしかわ特別支援学校地域支援室

電話：076-258-1715 mail: d_shouhi@ishikawa-c.ed.jp

【午前の部オンラインでの参加に関するお問合せ】

石川県リハビリテーションセンター

電話：076-266-2860 mail: sien@pref.ishikawa.lg.jp

申込締切

8月18日（月）

注意事項

午前の部オンライン（Zoom）参加について

- 所属機関内で複数人の申し込みがあった場合、所属単位での視聴をお願いすることがあります。
- 申し込み後、詳細については、後日メールでお送りいたします。直前になってもメールが届かない場合は、石川県リハビリテーションセンターまでお問合せください。

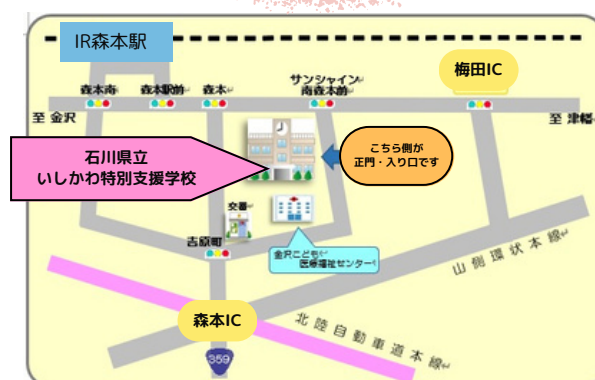
午後の部の参加について

- 選択講座①②は同じ内容です。各回1講座ずつ、合わせて2講座受講できます。
- 定員のある講座は先着順とし、定員に達し次第締め切りとします。
- 講座によって材料費等がかかるものがあります。各会場にて集金しますので、お釣りの無いようご準備願います。
- お申込み後のキャンセルにつきましては、メールかお電話でご連絡ください。

午後の部、午後の部通して参加される方について

- 12：00～13：30は休憩場所として本校食堂を開放します。食事の販売はありませんので、昼食は各自ご準備ください。（コーヒーや作業製品の販売は予定しております。）
- 内履きをご持参ください。

◆アクセス◆



いしかわ特別支援学校 森本校舎
〒920-3121金沢市南森本町1番1

- 国道359号線利用の場合は、「森本北」を七尾・高岡方面へ向かい、「サンシャイン南森本前」で右折。または、国道359号線「森本」を右折、「吉原町」を左折。
- 山側環状利用の場合は、「金沢森本IC」で降りて、国道359号を森本方面へ向かい、「吉原町」を右折。
- 電車利用の場合は、IRいしかわ鉄道線「森本駅」から徒歩約10分
- 駐車場には正門側から入り、係の誘導に従って駐車してください。
- 複数人でご来場の場合は、乗り合わせにご協力ください。

令和7年度 県リハ&いしとく 公開講座

対象 特別支援教育に
興味関心のある方
どなたでも

参加費無料！！

講座によっては材料費等がかかる場合があります。

8/26 火

場所 いしかわ特別支援学校
森本校舎

午前の部

9:30 受付
10:00 講演会（～12:00）
『多職種協働はお互いを知ること
～リハ職種ってこんなヒト～』
講師 こども発達支援センターのびろ
センター長 辻 清張氏
（理学療法士）

- 午前の部の講演は教員や支援者向きの内容となっています。
- 演習の中でフェイスタオルを使用しますのでご準備ください。動きやすい服装でご参加ください。
- 午前の部のみ、オンラインでの受講が可能です。

午後の部

13:00 受付
（午後の部からの参加者）
13:30 選択講座①
14:40 移動 休憩
15:00 選択講座②
16:10 終了

12:00～
13:30
作業製品の販売
ミニカフェも
予定してます

- A～Nの14講座の中から2つの講座を選んで受講してください。
- 午後の部のみの参加も可能です。
- 12：00～13：00、16：10～16：30に本校食堂にて、作業製品の販売（無人販売）を行います。

主催

石川県リハビリテーションセンター
いしかわ特別支援学校

〒920-0353 金沢市赤土町2-13-1

電話番号 076-266-2860

〒920-3121 金沢市南森本町1番1

電話番号 076-258-1715（地域支援室）

学びの夏が
やってきた！！

午前 の部

講演会

『多職種協働はお互いを知ること ～リハ職種ってこんなヒト～』

講師 こども発達支援センターのびろ
センター長 辻 清張 氏（理学療法士）

福井県こども療育センター（旧 福井県小児療育センター）で30年以上にわたり療育分野の第一線で理学療法士としてご活躍のあと、現在は「こども発達支援センターのびろ」のセンター長として、「地域障がい児支援体制強化事業」に取り組まれているほか、「保育所等訪問支援」「居宅訪問型児童発達支援」「児童発達支援」「放課後等デイサービス」等において子どもたちの可能性を引き出す視点を大切に発達が気になる多くの子どもたちに関わっておられます。

今回、リハビリテーション専門職の視点から見た子どもたちの姿をお伝えし、就学支援に活かせるちょっとしたヒントや気づきを知る時間に出来ればと願っています。

※辻先生は、（公社）日本理学療法士協会専門理学療法士（小児・支援工学・地域）、（公社）日本パラスポーツ協会スポーツトレーナー、ペアレント・プログラム実施資格者（アスペ・エルデの会認定）、福井県医療的ケア児等支援者、福井県子育てマイスターの資格を有していらっしゃいます。

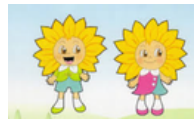
※当日は、動きやすい服装と、フェイスタオルを1枚ご持参いただき、ご参加ください。

講座D

みんなの中のひとり。知ってほしいな！
わたしたちのこと～疑似体験を通して、
障害特性とかかわり方を学ぶ～

金沢手をつなぐ親の会
金沢キャラバン隊ひまわりのたね

わたしたち『金沢キャラバン隊ひまわりのたね』は、知的障害のある子どもを持つ親です。疑似体験を通して、知的障害・発達障害の特性と困りごと、そのかわり方を理解して頂く活動をしています。皆様のご参加をお待ちしています。



講座E

医療的ケア児の
暮らしについて知ろう

石川県医療的ケア児支援センター
このこのセンター長 中本 富美

みなさんは医療的ケアが必要な子どもやご家族の暮らしについてどのくらい理解していますか？病院では退院後、入院中には想像もできないことが起こったり、学校の先生や福祉サービス等では子どもたちがいる間のことはわかるけれど、実際の暮らしはわかっていないと感じることはありませんか。本講座では子どもの暮らしを動画視聴していただき、理解を深め、今後の支援を考えるきっかけにすることを目的としています。

講座F

いろいろな姿勢をとることの
大切さ

石川県リハビリテーションセンター
理学療法士 平木 清喜

子どもたちの発達を促すためには様々な姿勢をとることが大切です。この講座で、いろいろな姿勢をとることが身体にとって、なぜ良いのかを一緒に学びましょう!!

※「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業」の紹介もします。



午後 の部

選択講座一覧

選択講座①は13：30～
選択講座②は15：00～
各1講座ずつお選びください。（講座Gを除く）

講座A 支援者向け

強度行動障害のある児童生徒の
理解と対応について

発達障害者支援センターパース
統括課長 吉本 真紀子

『強度行動障害』という名称を知っていますか？医学的な診断名ではなく、行政・福祉において必要な支援を判断するために使用されています。自らの健康を損ねる行動、周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動、これらが著しい頻度で起こり特別な支援が必要な状態を言います。『強度行動障害』の状態の人が安心できる暮らしとは？学校生活とは？事例を通して理解を深め、支援や予防について一緒に考える時間にしましょう。

講座B

読み書き、コミュニケーションに
困難がある児童生徒へのICT支援

金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科
教授 新谷 洋介

読み書きや、教科学習面の困難さに対する発達障害児および、肢体不自由児へのICT活用について取り上げます。Chromebook やiPad等の支援機能の紹介や、教材や支援機器の展示を行い、実際に触れて試して、対象にあった使用方法を考える時間になればと考えています。ご参加をお待ちしております。



講座C

発達障害のある子どもの
特性理解を踏まえた支援を考える

社会福祉法人金沢手をつなぐ親の会
法人本部 事務局次長
相談支援専門員 笠合 竜明

発達障害やそのような特性が背景にある子どもたちは、行動や言動で様々な反応を示します。そこに込められた「本人の本当の思いや願い」は何なのかを推察するには、その子から情報を集め分析していくアセスメントが必要となります。子をどう見立てるか、特性理解について具体的な事例を交えながら学んでみましょう。

講座G

選択講座①②
通して実施

AT機器開発体験ワークショップ
「触るスイッチ」を作ろう

AT&D Lab.

今回の講座では、そっと触れるだけでスイッチ操作ができる「触るスイッチ」をはんだ付けしながら製作します！「触るスイッチ」は、長野高専で開発された支援機器です。脊髄性筋萎縮症という難病のお子さんの保護者からの要望で、10年ほど前に開発したものを同じように困っている多くの人に使ってもらうためにワークショップを開催しています。ものづくりの楽しさを味わいながら、支援機器を自分の手で作ってみませんか！

材料費 無料
定員 10名

講座H

保護者の視点から①（知的障害教育部門）
「息子と歩んだかけがえのない日々」
～泣いて 笑って 落ち込んで

息子が教えてくれた大切なこと～
いしかわ特別支援学校知的障害教育部門
高等部生徒保護者 山上 真澄

頭蓋骨縫合早期癒合症と診断され、その後「お母さんこの子、自閉スペクトラム症とADHDですよ」と医師から言われた時「やっぱりそうですよね!!よかった…」と私は心から喜びました。それほどまでに子育てに困難を抱え、子育てに自信が持てずいました。たくさんの人に支えられ息子と歩んだ闘いの日々、語り尽くせないエピソードの数々をお話します。どうぞ一緒に泣いて笑ってください。皆様のご参加をお待ちしております。

講座I

保護者の視点から②（肢体不自由教育部門）
「あきらめない！」
～医療的ケア児の娘との10年～

いしかわ特別支援学校肢体不自由教育部門
小学部児童保護者 谷畑 由佳

元気に生まれたはずの娘には先天性疾患があり、医療的ケアが必要な重症心身障害児になりました。思い描いていた育児とは違い、できないことが多くてモヤモヤしたことも。でも、できないのなら「できる方法」を考えればいい。自分だけでは無理でも、人の力を借りればできるかもしれない。どんな子も、経験から感じていることは確実にあります。娘との日々で感じた「諦めずにチャレンジする大切さ」をお話したいと思います。

講座J

作業体験①園芸

プリザーブドフラワーの
コサージュ作り

いしかわ特別支援学校知的障害教育部門高等部
実習教諭 宮本 信子

プリザーブド加工されたバラやアジサイを使ったコサージュを作ります。バラやアジサイのワイヤリングにリボンをあしらいます。花の色や組み合わせによって素敵なコサージュに仕上げましょう！



材料費 800円
定員各20名

当日会場で集金します

講座K

作業体験②フードデザイン

わたしたちと一緒に
マフィンをつくりませんか？

いしかわ特別支援学校知的障害教育部門高等部
産業技術コース フードデザイン班生徒

産業技術コース フードデザイン班の生徒が、これまでの学習内容を活かして、みなさんにマフィンの作り方をレクチャーします。一緒に美味しいマフィンを作りましょう。



材料費 500円
定員各10名

当日会場で集金します

講座L

教員向け

特別支援教育の授業づくり 国語「読むこと」
絵本の読み聞かせをやってみよう！

いしかわ特別支援学校知的障害教育部門
中学部教諭 田畠 葵子

本校知的障害教育部門中学部の生徒たちが、小学部の児童たちに絵本の読み聞かせを行うため、リクエストされた絵本を分析します。そこには、相手を想いながら「絵本を読むこと」に真剣に向き合い、言葉による見方・考え方を働かせながら学びを深めていく生徒たちの姿がありました。本講座では、実践の一部をご報告します。特別支援学校・特別支援学級で国語の授業づくりに悩まれている先生方のヒントになれば幸いです。

講座M

パラスポーツを楽しむ
ボッチャ体験をしよう

いしかわ特別支援学校 ボッチャ部
肢体不自由教育部門高等部生徒

ボッチャ競技の概要説明のあと実際にボッチャ競技を体験できます。ぜひお越しください。いっしょにボッチャ競技を楽しみましょう！



※動きやすい服装でご参加ください

講座N

向陽&いしかわ
インクルーシブスタート！

金沢向陽高校生徒
いしかわ特別支援学校高等部生徒

今年度から知的障害教育部門高等部は、金沢向陽高校敷地内の新校舎で学校生活をスタートしました。合同授業、授業以外での交流、地域交流スペースを活用した「絆花（はんな）cafe」の企画運営、森本駅前でのイベント参加など、向陽生といしかわ生、両校と地域など様々な場面でインクルーシブ教育を進めています。新生活の中でお互いが感じていることや「もっとこうしたい」と思っていることなど、両校生徒の生の声をぜひお聞きください。

※ 選択講座①と選択講座②では講座内容は同じですので、①②はそれぞれ違う講座を選択してください。

※ 「講座G」のみ選択講座①②通しての受講となります。

※ 定員がある講座は先着順とし、定員に達し次第締め切ります。

※ 「講座J」「講座K」は材料費がかかります。当日講座会場で集金しますので、お釣りの無いようご準備ください。